

2003

第2号

平成15年7月1日発行

長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会報

ケアマネちゃんぽん

発行責任者：長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会事務局 協議会事務局住所：〒852-8065 長崎市横尾三丁目26-1
TEL095-856-6001、095-814-6688 FAX095-856-6002 E-mail:kamimu-n@heisel-kai.or.jp

「平成15年度居宅介護支援事業者連絡協議会総会報告」

大浦診療所 築城 文子



6月13日、県町村会館大会議室にて72名の参加にて平成15年度総会が行われました。大関会長の挨拶後、昨年度の事業報告・収支決算報告、15年度事業計画案・予算案が事務局より提案され可決されました。本年1月に創刊された広報誌「ケアマネちゃんぽん」は年2回の発刊。更に研修会の充実を図るため研修委員を設置すること、全体研修会の年2回開催や各ブロック研修会も年2回以上開催することなど事業の推進を図ります。平成14年度末で、全86ヶ所の事業所の加盟があります。役員について、隈部副会長の退任による交代の報告がありました。副会長に榎本哲子氏、中央ブロック長に道辻美佐子氏、更に中央の副ブロック長を1名追加し林尚雄氏が選任、新しい体制となります。皆さんよろしくお願ひいたします。

研修報告：「人的ネットワークを生かした在宅支援の取り組み」

～長崎大学工学部（機械システム課）教授 石松 隆和～

サンハイツ銭座 矢口 あけみ

総会終了後、引き続き研修会が開催され、長崎大学工学部の石松教授を講師に、「人的ネットワークを生かした在宅支援の取り組み」と題した講演が行われました。石松教授は大学で教鞭を執るかたわら、長崎斜面研究会や高齢者生活支援といった活動を行っており、講演の内容も一つ一つの事例を、情報提供から動機、そして実際にどのように使われ、それによりどう成果を挙げたか等、映像を交え用具の開発と人的パワーがいかに重要かを語られました。時には自らの体験を交えながら、「困っている人がいるのに、作れる人がいるのに、連携が取れなくて役に立たないという結果を招いている。欲しい物は諦めずに声に出す事。また、その為にはより多くのボランティアの必要性、大学の活用を」と呼びかけられました。福祉用具についても、気兼ねなしに本人や家族に、一番良いものを選択した方が良いとのアドバイスをいただきました。ご相談・問い合わせは下記の事務局まで。



長崎大学工学部 石松隆和教授または竹山裕子様 TEL&FAX:095-819-2508 E-mail: ishi@net.nagasaki-u.ac.jp

も

く

じ

- ・特集1
ブロック活動の軌跡……………P 2, 3
- ・特集2
ケアマネージャー支援体制……………P 4

- ・ケアマネかわら版……………P 5
- ・関連団体・研究会等のご紹介…P 6
- ・その他……………P 7

特集 1

長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会

平成14年度～15年度 ブロック活動の軌跡

南部

◎ブロック長：榎本 哲子 居宅介護支援事業所 喜楽苑 責任者

○副ブロック長：吉野 紀子 上戸町病院ケアプランセンター 所長

平成14年度：南部ブロック活動報告

加盟事業者数 21

南部基幹型在宅介護支援センターと共催で、事例検討会とブロック会議・交流会を年5回実施

- ①平成14年7月16日：ブロック会議・交流会 アンケート結果報告と活動計画の決定（参加37名）
- ②平成14年9月13日：事例検討会 在宅介護支援センターとの交流・福祉サービスの紹介（参加33名）
- ③平成14年11月19日：サービス提供事業所との交流（サービス事業所の広報）（参加29事業者）
- ④平成15年1月27日：ケース検討会 難病患者の支援を考える（参加33名）
- ⑤平成15年3月30日：「ケアマネージャーやってよかった！」事例報告（参加32名）

※困難事例・成功事例等、事例検討会では様々なケースを発表していただきました。会員各位の自己研鑽の材料となれば幸いです。尚、南部ブロックでは今後も事例検討会、また会員同士のネットワーク構築を目的に懇親会等、積極的な活動を企画。会員各位の多数の参加をお待ちしています。詳しくは下記をご覧ください。

平成15年度：南部ブロック活動内容

活動方針：14年度に引き続き二ヶ月に一回の勉強会の継続等、会員相互の自己研鑽を図る

- ①平成15年5月13日 サービス事業所（訪問介護）の紹介
- ②平成15年7月18日 ブロック会議・知って得する各種制度の紹介
（グランドホテルピアホールにて交流会）
- ③平成15年9月 事例検討を通して「地域福祉権利擁護事業」「成年後見制度」を学ぶ
- ④平成15年11月 事例検討「精神疾患に関するもの」
- ⑤平成16年1月 事例検討「痴呆に関するもの」 交流会（新年会）
- ⑥平成16年3月 事例検討 年間総括

以上、14年度以上に盛りだくさんの企画を予定しています。皆さんの積極的な参加に期待します！

◎ブロック長：道辻美佐子

十善会ケアマネジメントセンター新中川 責任者

平成14年度：中央ブロック活動報告

※研修会の実施・・・（基幹型在宅介護支援センターと共催で2回）

1回目：平成14年12月13日（金）

- A：事例発表「暴力行為のある痴呆事例（夫）と介護に悩む妻への対応」
B：グループ討議「痴呆のある要介護者の介護サービス」

2回目：平成15年2月13日（木）

- 事例発表 ①アルツハイマーのT氏を診療に結びつけた事例
②脳出血後遺症左片麻痺事例への対応

＜研修会の目標＞・・・異なった専門性を持ったケアマネが多数で事例検討する事によって、様々な角度からの多様な支援方法を学んだ。また、総合的なサービス計画を立てるには、どのような情報が必要であるかの把握を行い、事例だけでなく全ての支援への応用を目指した。

 北部

◎ブロック長：大関 政昭

居宅介護支援事業所 プライエム横尾 管理者

○副ブロック長：高橋 律子

長崎ダイヤモンドスタッフ(株) 在宅介護サービスセンター 主任

○副ブロック長：佐竹 啓子

フランシスコケアプランセンター 所長

加盟事業者数 41

平成14年度 北部ブロック活動報告

昨年度は、北部基幹型在宅介護支援センターにご協力をいただき、在宅介護支援センター共催という形で事例検討会を行いました。北部ブロックは、事業所数が40を越えるため、ブロック内を更に3グループに分け、それぞれのグループで役員以外に研修会のお手伝いをしていただく方をお願いし、9・10・11月3回の検討会を行いました。どの会もケースを提供して下さった方、参加されたみなさんが一緒になってケースの問題を共有し、良い検討ができたと思います。「ケースから学ぶ」という大関会長のお言葉どおり、それぞれの会が良い学びの場となったのではないのでしょうか。

平成15年度 北部ブロック活動内容

北部ブロックは今年度も昨年同様3グループに分かれて活動します。日常業務の身近な問題解決につながる、他事業所・サービスとの理解を深める場となることを活動の目標にしたいと思います。

①北部ブロック全体会議（7月24日）

②研修（日時は随時ご連絡します。）

・各サービス事業所をお招きしての説明会

・事例検討・その他

③交流会（全体会議終了後）

皆様に紹介したい事例や情報がありましたら事務局までお知らせください。また、研修会の準備を「手伝ってもいいよ!」と思われる方も大募集です。

 中央部

加盟事業者数 26

○副ブロック長：狩生 賢一

元船光タクシー(株) 居宅介護支援事業所 管理責任者

○副ブロック長：林 尚雄

古賀の里 居宅介護支援事業所 介護支援専門員

平成15年度：中央ブロック活動内容

昨年に引き続き中央部基幹型在宅介護支援センターとの共催で研修会の開催予定。
今年度は「日頃のケアマネ業務に自信をつけよう。」を目標にした研修会・交流会を計画。
第1回：H15年8月下旬「H15年法改正に伴うケアマネ業務のチェックポイント」

～減算の対象にしない為に必要な事はなに?～

第2回：H15年11月 サービス事業者との交流会

「顔の見える間柄で連携をスムーズにしたい」

第3回：H16年1月 事例検討会 自立支援できたケアプランの紹介

未加入の事業所にも加入勧誘していき、支援事業所もサービス事業所も生き生きとした仕事ができるような環境を皆で作って行きたいと思っています。

特集 2

ケアマネージャー支援体制

長崎県介護支援専門員連絡協議会設立と県の支援施策について

長崎県福祉保健部 長寿介護政策課長
岩本 公明



介護支援専門員の支援については、平成13年度、県において医療、福祉関係等の学識経験者からなる「長崎県介護支援専門員支援会議」を設置し、平成14年3月に介護支援専門員の支援方策に関する17項目の提言をいただきました。その中の1項目が県レベルの介護支援専門員連絡協議会の設立であり、関係各位のご努力により今年6月21日に設立総会が開催され、めでたく発足したところです。本県においては、長崎市居宅介護支援事業所連絡協議会をはじめ、既に13の地区協議会が活動しており、それぞれに独自の研修等を行っている中で、今回設立された協議会においては県レベルの研修企画や情報提供のほか、各地区協議会間の連絡調整を行っていくこととなります。今後県としても皆さんの活動を支援して参りたいと考えております。

さて、介護保険制度がスタートして3年が経過しましたが現在も次々と新たな運用や解釈がなされております。介護支援専門員はそのような動きを視野に入れつつ日々の業務を進めることになり、そのためには、常に新しい情報を入手していく必要があります。県では様々な方法で情報提供を行っておりますし、既に長崎県医師会のご協力により「ケアマネタイム」も実施に移されております。

ここでひとつ介護支援専門員の皆さんにもお願いしたいことがあります。それは、インターネット、電子メールの活用です。既に携帯電話でメールを利用している人は多いと思いますが、インターネットの国、県のホームページやWAMNET等では新たな動きやQ&A、研修予定などの情報を発信しています。県では、今年2月長寿介護政策課のホームページに、提言項目の一つであった介護支援専門員専用の電子掲示板を設けました。

(http://www.pref.nagasaki.jp/choju/bbs/bbs_kisoku.html)

介護支援専門員として登録されている人が生年月日、登録番号等を入力すれば、事務所、自宅等このコンピュータからでも自由に利用することができますので、気軽にご利用下さい。

県においては、今後も17項目の提言にそって介護支援専門員の支援を行ってまいりますので、介護支援専門員の皆様も介護保険制度の理念である自立支援に向けて、質の高い計画作成にご尽力いただきますようお願いいたします。

介護支援専門員の支援体制における基幹型在宅介護支援センターの役割

南部基幹型
在宅介護支援センター
川崎 マサ子



中央部基幹型
在宅介護支援センター
陣野 紀代美



北部基幹型
在宅介護支援センター
氷室 弥千代



日頃から介護支援専門員の皆様には大変お世話になり有難うございます。また、今回、基幹型支援センターについて紹介する機会を与えて頂き有難うございます。

さて、長崎市では介護保険制度開始時の平成11年度、基幹型支援センターが1ヶ所「高齢者すこやか支援課」に設置されました。翌年には基幹型3ヶ所になり、現在に至っています。基幹型には大きく分けて次の3つの役割があります。①地域型在宅介護支援センターの支援・統括、②介護予防・生活支援サービスの総合調整、③介護サービス提供機関（介護支援専門員）の指導・支援。介護支援専門員の皆様に対する主な支援内容としては、各種研修会の開催や処遇困難事例などのサービス調整があげられます。

また、前年度から位置付けられたケアマネジメントリーダーについても基幹型でその役割を担うこととなっており、個々のケアマネージャーの個別相談や、関係職種との連絡調整を通じたネットワーク構築への支援が求められています。

今までも基幹型はケアマネージャーの相談窓口としての役割を持っていましたが、ケアマネジメントリーダーという役割が改めて与えられた中で、相談窓口としての位置づけを明らかにするため、曜日や時間を設定して相談しやすい体制を整える予定です。ケアマネジメントリーダーが全てを解決できるものではありませんが、皆様と共に悩み、解決方法を模索したり、各種機関等と連携を図る中で、少しでも活動しやすい体制づくりを目指して活動していければと考えております。

ケアマネかわら版

ケアマネの…言わせて欲しい！

「今、〇〇病院に父が入院しています。退院許可がでて、来週連れて帰る予定です。一人暮らしなのでヘルパーさんを利用したいのですが？」という一本の電話から始まり、まず、娘さんの家へ走り、介護保険制度の説明→代行申請→病院へ走り→本人のアセスメントをとりADLの確認→主治医よりの情報収集→サービス調整→自宅の家屋チェック→住宅改修調整→事業者へのサービス依頼を済ませケアプラン作成、『やっと退院に間に合った』と、ホッとしているところに、「再梗塞をおこし、退院のめどがたません」という一本の電話にておわり……。お気の毒……。

どうしようもないけど、他の仕事はおいといてかけずりまわり、残業。居宅料は入らず疲労のみ加算。主治医と面識ができただけでもよかったとしようと言いつつ聞かせる。

皆様もこんな経験、何回もあるでしょうね……。

(匿名希望のケアマネより)

デイサービスからひと言…

- 何度か要介護認定を更新している要支援・要介護者の更新手続きが遅れて申請中ということで一時的に無料にて利用を提供することがあったので、何とかそのようなことがないようにしていただきたい。
- サービス利用票や利用票別表の内容を理解されていない利用者・家族が多く、時折、利用者・家族から質問を受けることがあるので利用票を利用者・またその家族にわたす際にわかりやすい説明をお願いしたい。
- サービス提供票・利用票がもう少し見やすいものに変更できないのでしょうか？
- 最後にケアマネージャーの皆さんへ。利用者はあなたがたの親身な対応にすごく満足されています。これからも利用者・利用者の家族にとってより良いサービスをマネジメントしてってください。私達、サービス事業者も利用者のためにより質の高いサービスを提供できるよう努力していきます。

(匿名希望のデイサービス職員より)

ケアマネの独り言…

病棟で看護師として9年間働いた後、介護保険の導入とともにケアマネージャーとして働いています。これまでたくさんの利用者様と関わってきました。介護保険が始まった当初からのお付き合いの方も多くいらっしゃいます。訪問するたびに「お変わりなく過ごしていらっしゃって安心しました。」と声かけできることを、嬉しく思います。

つい最近もいつもの通り退院後の利用者様宅へ訪問しました。すると、ご本人は病院では見たことのないような笑顔で迎えてくれました。介護者の奥様も介護にお疲れの様子はなく、ニコニコして「毎日楽しい。」とおっしゃいます。自宅で安心して生活できることに、ケアスタッフの方々に大変感謝しております。人生の先輩方を前にして、私も年をとったら、自宅で穏やかに過ごしたいと思います。そして、ケアマネージャーの方に、「お変わりなく過ごしていらっしゃって安心しました。」と言ってもらいたいと思います。こんな思いを抱きつつ毎日訪問に出かけています。

(匿名希望のケアマネより)

※この「ケアマネかわら版」に掲載希望のコメントを募集しています。言わせて欲しい！等、記事内容への賞賛、反論、何でも結構です。掲載希望の方は事務局までご連絡下さい。

関連団体・研究会等のご紹介

1. 関連団体

- 都道府県でHPを開設しているケアマネ団体の一覧です。興味のある方は是非アクセスしてみてください。
- ・北海道ケアマネジャー連絡協議会
http://www.kaigoshien.org/care/care_top.htm
- ・岩手県介護支援専門員協会
http://www.wakeisou.or.jp/iwatekaigoshien/iwakai_top.html
- ・宮城県ケアマネジャー協会
<http://www2.odn.ne.jp/~mcma/top.htm>
- ・宮城県ケアマネサポートセンター
<http://www2.odn.ne.jp/~aat81460/kensyu3.htm>
- ・茨城県ケアマネジャー連絡協議会
<http://www.ibaraki.med.or.jp/care/>
- ・つくば介護支援専門員連絡会
<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Sakura/7876/>
- ・山形県介護支援専門員協議会 山形地区支部
<http://www.dewa.or.jp/arabon/caremane/>
- ・とちぎケアマネ協会関連
<http://www.pref.tochigi.jp/hisho/sonota/03/kodo/140324.html>
- ・群馬県介護支援専門員連絡協議会
http://www7.wind.ne.jp/caremane_gunma/
- ・埼玉県介護支援専門員協会
<http://www.saitama-cm.com/>
- ・千葉県介護支援専門員協議会
<http://www3.ocn.ne.jp/~chibacmc/>
- ・神奈川県介護支援専門員協会（ケアマネの森）
<http://www.care-manager.org/>
- ・富山県居宅介護支援事業者連絡協議会
<http://toyama.caremane.otto.to/>
- ・石川県介護支援専門員連絡協議会
<http://www.ohba.co.jp/kaigo/>
- ・京都府介護支援専門員協議会
<http://www.khosp.or.jp/whatsnew/issue00024.html>
- ・大阪府介護支援専門員協会
<http://www.ocma.ne.jp/>
- ・大阪ケアマネジメントリーダー養成研修
<http://www.pref.osaka.jp/korei/care/dentatu.htm>
- ・奈良県介護支援専門員協会
<http://www1.kcn.ne.jp/~carenara/>
- ・岡山県介護支援専門員連絡協議会
<http://www.fukushiokayama.or.jp/jinzai/kaigoshien/senmonin.htm>
- ・広島県介護支援専門員連絡協議会
<http://www.hiroshima-caremane.gr.jp/>
- ・徳島県介護支援専門員協会
<http://www.netwave.or.jp/~tcma/index2.htm>
- ・大分県介護支援専門員連絡協議会
<http://www8.ocn.ne.jp/~ocma/ocma/>

※長崎でも長崎県介護支援専門員連絡協議会が設立されました。会員資質の向上に向け活発な活動を期待します。また他県のケアマネ団体の活動も活発なようです。各地で学会・研修会等の開催も企画されています。情報収集の材料としてご活用下さい。

2. 研究会等

●長崎ケアネットワーク（NCN）

- 設立の経緯
設立者、田川療養所院長・他数名により、10年前に在宅ケアスタッフ間の交流学習及び情報交換の場として設立される
- 開催日
毎月第3水曜日 19:00～2時間程度
- 場 所
医学部ポンベ会館・長崎原爆病院
長崎北病院等
- 会 員
現在63施設へ次回開催等の連絡をFAXでお知らせしている状況であり参加していただいた方を会員と言っているのが現状。（会員費は徴収していない）自由参加歓迎
- 事務局
活水女子大学健康生活部
永田 耕司 先生
- 問い合わせ先
活水女子大学健康生活部
助手室 切江（キリエ）様
長崎市戸町3丁目1004-1
095-879-7966
- 開催例
テーマ「在宅ターミナルケアについて」
時津中央クリニック・中尾勘一郎 先生
（平成15年6月18日に開催されました）

※現在、長崎市内で活動中の研究会、サークルなどで、掲載を希望される団体は、下記事務局までmail かFAX にてご連絡下さい。

社会福祉法人 平成会
長崎市在宅介護支援センター
プライエム横尾内
長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会事務局
事務局長 神村 紀行

Tel.095-856-6001、095-814-6688
Fax.095-856-6002
E-mail: kamimu-n@heisei-kai.or.jp

トピックス TOPICS

～認定ケアマネジャー制度の創設～

1. 日本ケアマネジメント学会は、多様な研究によるケアマネジメント学の確立と発展と共に質の高いケアマネジメント実践者を養成する高い社会的責任を持っている。このような観点から学会は、日本医科大の竹内孝仁教授を担当理事に据え、平成14年2月より「認定ケアマネジャー制度」を発足することとなった。
2. 認定ケアマネジャーの申請資格は、①介護支援専門員の資格を有すること、②本学会の2年間の会員歴と同時に都道府県介護支援専門員協（議）会もしくはそれと同等の団体の会員であること、③在宅介護支援の実務経験者（施設含まず）、④本学会の定める（承認する）学術集会、研修会等への参加実績（ポイント）を有することとなっており、ケアマネジメント学の確立は、介護支援専門員にとって、社会的にも、職業的にも重要な課題であることが伺える。

（文責：リエゾン長崎 川副 巧成）

事務局便り

・長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会（以下、本会）の年会費¥10,000（1事業者）の納入をお願い致します。また、本会におきましては、平成15年度発足の「長崎県介護支援専門員連絡協議会」（長崎県看護協会事務局）の会費も合わせて取りまとめることとなりました。会費は介護支援専門員1名につき¥1,000となっております。本会年会費と県協議会の会費（人数×¥1,000）の合計分を下記口座までお振り込み下さいますよう、お願い申し上げます。

○振り込み先：親和銀行滑石支店 普通預金 口座番号 1293640

○口座名義：長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会 会長 大関政昭

（問い合わせ先）社会福祉法人 平成会 長崎市在宅介護支援センタープライエム横尾内。

長崎市居宅介護支援事業者連絡協議会事務局。 事務局長 神村紀行

Tel. 095-856-6001, 095-814-6688, Fax. 095-856-6002, E-mail: kamimu-n@heisei-kai.or.jp

編集 後記

編集委員長 川副 巧成

皆さん今日は。前 隈部編集委員長より会報誌編集の取り纏めを引き継ぎました、リエゾン長崎の川副巧成です。

本誌は、会員相互の情報交換や、自己研鑽の材料となることを目的に創刊し、今回で発刊2号目となりました。

編集の段階では、会員の皆さんの日常業務に役立つ情報や、介護支援専門員の専門性確立の為に必要な知識を「記事」という形で皆さんにお届けできるよう心がけています。本号では、他県の介護支援専門員関連団体のご紹介を記事にしました。現在、各地で介護支援専門員関連団体が次々と発足し、様々なネットワークの構築と、その専門性を高める努力がなされています。長崎県でも今年度から「長崎県介護支援専門員連絡協議会（長崎県看護協会事務局）」発足しました。これを機に、我らが長崎の地でも、会報にとどまることなく、様々な手法でさらに高度な介護支援専門員のネットワークが構築されていくことを期待しています。

また、各編集委員は、忙しい業務の合間を縫って誌面の企画や記事の収集にあたっています。会員の皆様には、この「ケアマネちゃんぽん」を大切に読んでいただければ幸いです。

尚、誌面について、ご提案等ありましたら、下記のアドレスまでお願い致します。

社会福祉法人 春秋会 リエゾン長崎 川副巧成 kousei@liaison.gr.jp

	ブロック長	副ブロック長
南部	榎本 哲子 (喜楽苑)	吉野 紀子 (上戸町病院)
中央部	道辻美佐子 (十善会)	林 尚雄 (古賀の里)
		狩生 賢一 (元船光タクシー株)
北部	大関 政昭 (プライエム)	高橋 律子 (ダイヤモンドスタッフ株)
		佐竹 啓子 (フランスコケアプランセンター)

編集委員会

委員長：川副 巧成（リエゾン長崎）

委員：向田 圭介（フランスコケアプランセンター）

浜崎 克裕（にしきの里）

林 尚雄（古賀の里）

矢口あけみ（サンハイツ銭座）

築城 文子（大浦診療所）

清潔 ———— 安心 ———— 安心

福祉用具のレンタルと販売・住宅改修

TAIYO 太陽セランド 株式会社
長崎支店

担当 松井・米田・岩田

〒 856-0844 大村市溝陸町643-1

TEL 0957-49-6222

FAX 0957-49-6333

介護用品・福祉機器 販売・レンタル
医療機器 販売

 **株式会社
コーセイメディカル**

〒 852-8132 長崎市扇町10-9

☎ 095-842-4371

FAX 845-2823

長崎県知事指定 在宅介護サービス事業者の長崎ダイヤモンドスタッフ(株)が
昼でも夜でも年中無休で介護のお手伝いいたします

**福祉用具・介護用品の
貸与と販売**



在宅介護サービスセンター(本部) 長崎市瀬町2-25 ☎ 864-0708

福祉用具・介護用品センター 長崎市瀬町2-18 ☎ 864-1313

福祉用具・介護用品センター 長崎市深堀町1-145-4 ☎ 832-3000

[三菱重工関連会社]

ds 長崎ダイヤモンドスタッフ株式会社
在宅介護サービスセンター ☎ **864-0708**

医科器械・理化学器械・病医院諸設備
介護保険福祉用具貸与事業者

福祉用具レンタル・福祉用具販売・住宅改修工事

株式 天 愚 堂
会社

本社 〒 852-8046 長崎市柳谷町4番20号

TEL (095) 844-2822 (代)

FAX (095) 844-2158

E-mail: tengudo@am.wakwak.com

五島営業所 〒 853-0064 福江市三尾野町3-7-6

TEL (0959) 72-7572

FAX (0959) 72-1619

サービス事業者の皆様で、広告の掲載を希望される所は、
事務局まで御連絡下さい。

